

# 令和元年度 学校評価「保護者アンケート」集計表

全体集計(実施人数 359 人)

NO	アンケート項目	4	3	2	1
<b>重点目標 お互いのよさを認め合い、仲よく助け合う子ども</b>					
1	お子さんは、自分から進んであいさつがしっかりできていると思いますか。	117	183	56	3
2	お子さんは、場に応じた正しい言葉遣いができていると思いますか。	95	198	61	5
3	お子さんは、友だちとかかわり合い、多くの友だちと仲よく生活できていると思いますか。	170	160	26	3
4	お子さんは、お互いのよさを認めたりできていますか。	132	198	27	2
<b>重点目標 自ら学び、考え、共に高め合う子ども</b>					
5	お子さんは、自分から進んで学習に取り組んでいると思いますか。	119	176	61	3
6	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。	105	135	100	19
7	お子さんは、自分の考えを話したり、友だちの意見を聞いたりして学習していると思いますか。	94	194	63	7
<b>重点目標 生命を尊び、心身ともに健康な子ども</b>					
8	お子さんは、うがい・手洗い・歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についていると思いますか。	113	178	65	3
9	お子さんは、身の回りの安全に気をつけて行動できていると思いますか。	143	178	33	5
10	お子さんは、進んで運動に親しむ習慣が身についていると思いますか。	141	118	88	12
11	お子さんは、望ましい食習慣が身についていると思いますか。 (食事のマナーや好き嫌いがいいなど)	74	184	95	8
12	お子さんは、ルールを守り安全に集団登下校をしていると思いますか。	190	124	36	6
13	お子さんは、地域等で安全に遊ぶことができていると思いますか。	162	165	29	3

# 令和元年度 学校評価「児童アンケート」集計表

全体集計(実施人数 350 人)

NO	アンケート項目	4	3	2	1
<b>重点目標 お互いのよさを認め合い、仲よく助け合う子ども</b>					
1	あなたは、自分から進んであいさつをしていますか。	204	125	19	2
2	あなたは、友だちや先生に正しい言葉遣いでお話ができますか。	185	152	18	5
3	あなたは、多くの友だちと協力しながら仲よく生活できていますか。	239	103	15	3
4	あなたは、お互いのよさを認め合うことができますか。	218	118	11	2
<b>重点目標 自ら学び、考え、共に高め合う子ども</b>					
5	あなたは、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	236	107	15	2
6	あなたは、進んで家庭学習に取り組んでいますか。	218	106	33	3
7	あなたは、ペアやグループで自分の考えを話したり、友だちの意見を聞いたりして学習していますか。	246	107	14	3
<b>重点目標 生命を尊び、心身ともに健康な子ども</b>					
8	あなたは、うがい・手洗い・歯磨きなどがきちんとできていますか。	240	104	11	5
9	あなたは、身の回りの安全に気をつけて行動できていますか。	241	95	12	2
10	あなたは、体育や休み時間などに進んで体を動かしていますか。	247	79	25	2
11	あなたは、食事のマナーを守り、好き嫌いなく食べることができますか。	205	107	45	3
12	あなたは、ルールを守り安全に集団登下校をしていますか。	272	73	6	8
13	あなたは、ルールを守り地域等で安全に遊んでいますか。	312	39	6	3

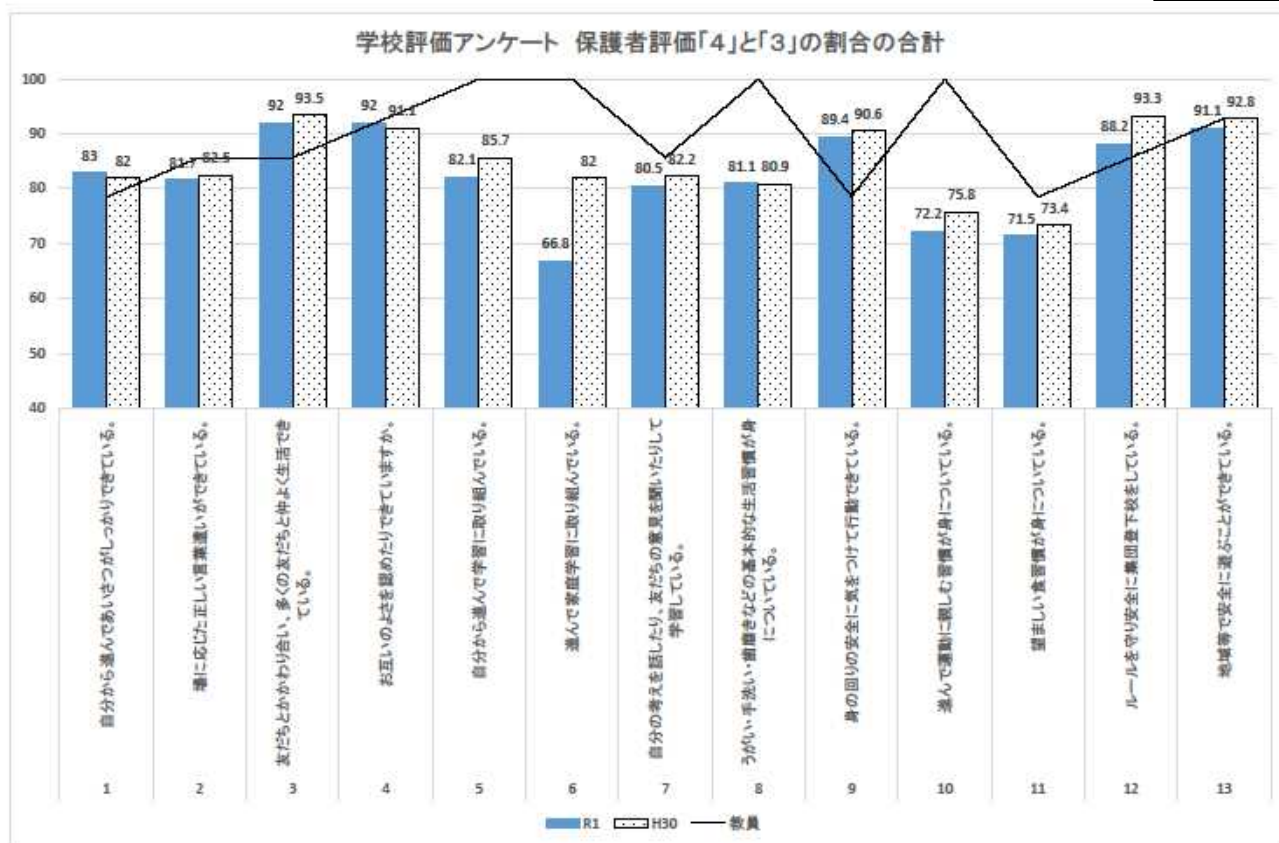
## 令和元年 学校評価「教員自己評価アンケート」

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない  
 (\* 当てはまるところに○印をつけてください)

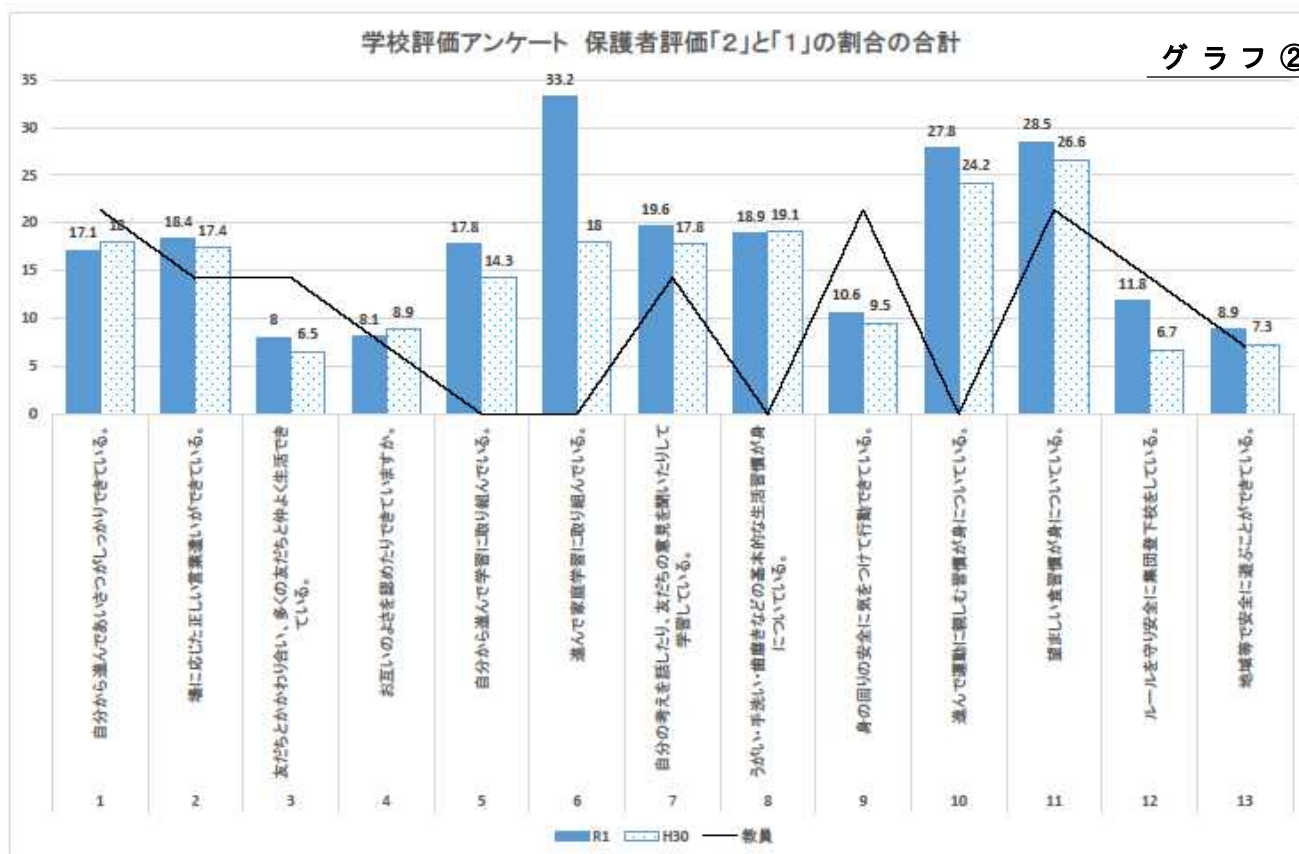
名前

NO	アンケート項目	4	3	2	1
<b>重点目標 お互いのよさを認め合い、仲よく助け合う子ども</b>					
1	子ども達は、自分から進んであいさつをしているか。	1	10	3	
2	子ども達は、友だちや先生に正しい言葉遣いができているか。		12	1	1
3	子ども達は、自分のよさに気づき、友だちのよさを認め合うことができているか。		12	2	
4	子ども達は、お互いのよさを認め合うことができているか。	3	10	1	
<b>重点目標 自ら学び、考え、共に高め合う子ども</b>					
5	子ども達は、自分から進んで授業に取り組んでいるか。	3	11		
6	子ども達は、家庭学習の習慣が身についているか。	1	13		
7	子ども達は、ペアやグループで自分の考えを話したり、友だちの意見を聞いたりして学習することができているか。	5	7	2	
<b>重点目標 生命を尊び、心身ともに健康な子ども</b>					
8	子ども達は、うがい・手洗い・歯磨きなどの習慣が身についているか。	4	10		
9	子ども達は、身の回りの安全に気をつけて行動できているか。		11	3	
10	子ども達は、自ら体育の授業に取り組んだり、休み時間などに進んで体を動かしたりしているか。	7	7		
11	子ども達は、食事のマナーを守り、好き嫌いなく食べることができているか。	1	10	3	
12	子ども達は、ルールを守り安全に集団登下校ができているか。		12	2	
13	子ども達は、ルールを守り地域等で安全に遊ぶことができているか。	1	12	1	

グラフ①



グラフ②



## < 考察 >

グラフ①は、学校評価アンケートの保護者の回答、「4 よくできている」「3 できている」を合わせて棒グラフに表している。(グラフ②はその逆)折れ線グラフは、同じ質問項目を教員にも行い、グラフに表したものである。

昨年度と比較した場合、グラフ①で有意差が認められるのは、質問6「お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。」であり、昨年度より「できている」が16Pダウンしている。(グラフ②では「できていない」が16Pアップ)本校では、今年度より家庭学習カードを全学年で共通で使用を開始した。同時に、児童に対する家庭学習の仕方を、常日頃具体的に指導をしてきた。また、保護者に対しては学年日より、懇談会等を通して共通理解を図ってきたつもりであったが、十分ではなかったことが分かる。それと同時に、保護者の家庭学習に対する意識が高まり、より評価が厳しくなったともとらえることができる。

保護者の評価と教員の評価に差が認められる質問は、

質問5「お子さんは、自分から進んで学習に取り組んでいると思いますか。」

質問6「お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。」

質問8「お子さんは、うがい・手洗い・歯磨きなどの基本的な生活習慣が身についていると思いますか。」

質問10「お子さんは、進んで運動に親しむ習慣が身についていると思いますか。」

以上の4つの質問である。いずれも教員の評価は高いが、保護者は評価できないと応えている。

質問5、質問6の保護者回答と教員との回答の差からは、家庭学習を行ってはいるが実際「何を」「どうやって」取り組めば良いのか、各家庭で試行錯誤していることが読み取れる。今後継続する上で、家庭学習として行える範囲、ノートへのまとめ方の具体例などを、より分かりやすく保護者に発信し、同一步調で取り組んでいきたいと思う。

質問8の結果を受け、家庭でも基本的な生活習慣を保つことができるよう、うがい・手洗い・歯磨きの必要性・効果について、保健の授業やお便り等を通して理解を深めていきたい。質問10の運動習慣については、帰宅後の児童の生活習慣(例えばゲーム機での遊びや動画サイト視聴)にも関わることであるので、学校と保護者が共通理解を図りながら改善を図っていく必要がある。

## 第2回学校評議員会での評価

出席者＜加藤純一様、関 健至様、後藤大介様、校長紺野宗作、教頭佐藤睦弘＞

日時：令和2年2月17日（月） 11：25～12：50

【本年度の学校経営及び学校評価の結果について質疑】

（敬称略）

### 授業参観及び今年度の学校経営について説明を受けての質疑

後藤 二本松市の鼓笛パレードや水泳大会が廃止になったのは、新学習指導要領にむけた体制としてやむを得ないことであると認識している。また、不登校や不登校傾向、虐待など、学校だけでは対応しきれないことがあるため、今まで以上に学校と保護者が協力し合っていかななくてはならないと思った。

関 先ほど各学級を参観した際、男子児童の体格が良い（肥満が多い）と感じた。クラスに3、4人程度いると感じていたが、肥満傾向の男子が16%と聞いて納得した。

加藤 関さんと同様に、肥満傾向の男子が多いことを感じた。

授業の様子は、どの学級もとても落ち着いていた。特に、特別支援（情緒）の子が通常学級で交流をしていますが、全く目立っていなかった。とても良い雰囲気であった。

### 学校評価アンケートの説明を受けての質疑

後藤 先ほど、「お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。」の質問項目に対して、教員の評価はとてもよいが保護者の評価は低く有意差が認められたという話があったが、我が子の家での様子を思い起こすと『なるほど』と思える。

子ども達はどうしてもメディアに対する依存度が高い。帰宅後家庭学習を早々に終わらせ、その後ゲームや動画サイトの視聴等に多くの時間を割いているのが実際である。そんな我が子に対して、毎日のように苦言を呈している保護者の立場を考えると、どうしても「進んで家庭学習に取り組んでいる」とは言えない。家庭学習とメディアコントロールと生活習慣は切り離せない関係にあると思われるので、学校での指導だけでは十分とは言えないところがあるように思える。

加藤 子ども達の実際の宿題の提出率はどうなのか。

校長 宿題の提出率も、家庭学習の提出率もかなり良い。各担任は、家庭学習の結果を

見ているので、その過程でどのようなやり取りがあったのかが見えない・・・と言うことも一因であると思われる。

これからの子ども達には、帰宅後の時間の使い方（タイムマネジメント）に気を配ったり、自主学習に対するこだわりをもって取り組んだりさせたい。

後藤 例えば宿題のプリント1枚にだらだら時間をかけるのではなく、1枚なら30分、今回は難しいので1枚でも45分・・・等のように、時間を意識させるのも一つの工夫であると思う。あるいは、自主学習1ページやるのに〇〇分かかった、という記録の方法もあるかと思う。

校長 宿題と自主学習のバランス、時間のマネジメント、自主学習の計画の立て方・・・等について、保護者により理解してもらえよう、情報提供する必要があると感じている。

関 担任ごとに宿題の量にばらつきがある。〇〇先生は宿題が多いが、▲▲先生は宿題が少ない・・・等ということが言われているので、学校として統一感を持たせることが必要だと思う。

## 学校評議員会の質疑を受けて（総括）

- 不登校や不登校傾向の児童（家庭）や虐待報告のあった児童（家庭）については、該当保護者と強力で共通理解を図り同一歩調で取り組むのはもちろんのこと、各関係機関と連携し多くの関わりの中で見守っていく必要がある。『情報が集まる学校』であるため、今まで以上に保護者、地域との距離感を縮めていきたい。
- 肥満対策、運動量の確保、メディアコントロール、虫歯の治療等、学校と保護者（家庭）が本気になって取り組む事で改善が図られる。PTA総会や学年懇談会のみならず、様々な機会を確保し共通理解を図っていく必要がある。
- 自主学習（家庭学習）をより強力ですすめる上で、今年度以上に、具体的な家庭学習指導が必要である。学習内容、時間の使い方（タイムマネジメント）、保護者の関わり方等、学年の系統性を考え指導していく。